

社協
だより
たるい

TOPICS

- 会長あいさつ (P.2)
- 事業所紹介 (P.3)
- 施設会員紹介Vol.7
キッズボンドさん (P.4)
- 令和7年度福祉推進員研修会 (P.5)

149号



皆さまとともに歩んできました

50周年

1975 ▶ 2025

垂井町社会福祉協議会は
令和7年6月28日
法人化50周年を
迎えました。

垂井町社会福祉協議会 (垂井町社協)とは

社会福祉法に基づき、垂井町内の地域福祉推進を図ることを目的として組織された民間団体です。

昭和38年に任意団体として設立され、昭和50年に社会福祉法人の認可を受け社会福祉法人化から50周年を迎えました。

地域の様々な人や団体、関係機関と手をたずさえながら、地域の皆さまのふだんのくらしをしあわせにしていけるための取組を行っています。



これからも
宜しくお願い致します

令和7年7月1日発行

編集発行

社会福祉法人 垂井町社会福祉協議会

不破郡垂井町1305番地の2 (垂井町福祉会館)

TEL (0584)23-3335 FAX (0584)22-2714

ホームページ <https://www.tarui-shakyo.jp>

E-mail info@tarui-shakyo.jp

 この広報誌は共同募金の配分を受けて作成しています





会長あいさつ ～法人化50周年を迎えて～

社会福祉法人 垂井町社会福祉協議会
会長 澤島 精次

垂井町社会福祉協議会は、昭和38年4月、心配ごと相談や共同募金、善意銀行、身障者高齢者慰問などの事業を行う任意組織として発足し、昭和50年6月28日社会福祉法人を設立して、今年で50周年を迎えました。昭和63年、事務所を役場から現在の福祉会館に移転し、在宅福祉サービスの担い手として、行政が行う事業の受託や地域での福祉活動の開拓、福祉関係者間のネットワークづくりなどに取り組んできました。

平成12年以降は、累次の社会福祉(事業)法改正により地域福祉の理念が法文化され、その制度化・施策化が進展するとともに、社協は地域福祉推進における、中心的な役割を担う組織として活動・事業、組織を拡大してきました。

この間少子高齢化・人口減少が進行し、福祉ニーズの多様化・複雑化、担い手不足、血縁・地縁・社縁といったつながりの希薄化など、地域福祉を取り巻く環境が大きく変化してきています。加速する社会・経済の構造的な変化のなかで、誰もがその人らしく、安心して暮らすことのできる地域社会をいかに実現していくか、今、大きな岐路にあります。

私ども社協は、これら社会の変容を踏まえつつ、住民主体の理念に基づき、住民と地域の関係者との協働により「ともに生きる豊かな地域社会」づくりを進めてまいります。

☆垂井町社会福祉協議会職員集合写真☆



令和7年5月に職員の集合写真を撮りました。

地域の皆様に信頼される存在であり続けられるよう、職員一同日々精進して参りますので、今後とも宜しくお願い致します。



次号より、法人化50周年を記念して、垂井町社協とともに歩んでくださったボランティアさん等へのインタビュー記事を掲載していく予定です。

☆垂井町社会福祉協議会事業所紹介☆

事務局

事務局では、法人としての事務的な業務と地域福祉の推進を目指した様々な事業を展開しています。

町内の様々な福祉課題に対して、町民の皆さまと共に解決策を模索し、事業や各種サービスへとつなげています。

日本赤十字社垂井町分区、岐阜県共同募金会垂井町分会の業務も担っています。



高齢者見守り員

垂井町内の見守りが必要なひとり暮らし高齢者を訪問し、安否確認を行い、緊急時に迅速かつ適切な対応を行うことにより、安心して生活していただけるよう努めています。

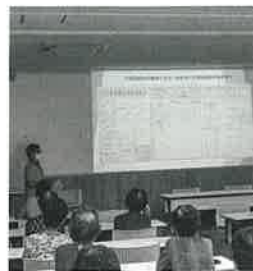


居宅介護支援事業所

介護支援専門員は、介護保険制度において要支援・要介護の認定を受けた人やその家族からの相談を受け、介護サービス計画(ケアプラン)を作成します。また、自治体や他のサービスとの連絡や調整を行います。

迅速に対応することをモットーに、きめ細やかな対応ができるよう努めています。

介護が必要になっても住み慣れた地域で安心して生活できるよう、お手伝いしますのでお気軽にご相談ください。



垂井町福祉事業所けやきの家

垂井町福祉事業所けやきの家は、障害福祉サービスの生活介護と就労継続支援B型を行う多機能型の事業所です。



生活介護は、企業様からの受注作業と刺し子等の自主製品の製作を日中活動として行い、余暇活動にも力を入れています。

就労継続支援B型は、施設内での受注作業の他、社会経験を培う為の施設外就労、通所が困難な方への在宅ワーク等を積極的に取り入れています。

今後も利用者さん一人ひとりに寄り添う支援を心がけ、笑顔あふれる事業所を目指していきます。

垂井町デイサービスセンター

垂井町デイサービスセンターでは、利用者様への健康体操やレクリエーション等を通して、笑顔あふれる空間づくりを心がけています。

町内で最大規模のお風呂が自慢であり、銭湯のようだと利用者様に喜ばれています。

住み慣れたまちや環境で暮らし続けるために、利用者様同士が交流し、一日楽しく笑顔になれる場所となるよう努めています。



地域を支える社協の仲間

児童発達支援・放課後等デイサービス キッズボンドさん

施設会員さんご紹介 Vol.7

垂井町社会福祉協議会の施設会員をご紹介します。

第7回目は、「キッズボンド」さんです。インタビューを行い、経営理念や施設の特色、地域との関わりについて伺いました。

◆ 経営理念

キッズボンドグループは、岐阜県を中心に他県にも展開している児童発達支援・放課後等デイサービス事業所です。

キッズボンド垂井は2020年11月、キッズボンド地蔵は2022年6月にオープンし、以下の3つの法人理念に基づいて経営されています。

- ①学校に適應できる力を育てていきます。
- ②「できた」「みつけた」「楽しい」「一緒に」の4つのキーワードを基軸に支援を行います。
- ③お子様と保護者の方に寄り添います。



のびのびといっぱい
遊べそうだね♪



▲キッズボンド地蔵



▲キッズボンド垂井

人気のボルダリング！
専務さんの手作り
なんだった♪



▲キッズボンド垂井



▲キッズボンド地蔵



◆ 施設の特色

- ・開放感のあるスペースで豊富な遊び▶お子様の活動スペースが広く、様々な遊びを取り入れながら安全に配慮した活動をされています。
- ・異年齢のお子様との交流▶児童発達支援と放課後等デイサービスの多機能型ということもあり、年上や年下のお子様との交流機会の場にもなっています。
- ・防災意識を高める活動▶毎月避難訓練を行い、いざというときに落ち着いて行動できる力を育てていっしやいます。
- ・公認心理師などの医療専門職の在籍▶オンラインや実地での研修が月数回行われており、日々支援技術の向上に努めていっしやいます。



落ち着いた雰囲気で、
集中して宿題が
できそう♪



▲キッズボンド垂井



▲キッズボンド地蔵

年齢が上のお兄さんや
お姉さんが勉強を教え
てくれたりもするん
だって！優しいね～♪



◆ 地域との関わり

- ・地域社会への愛着と理解を深める活動▶相川こいのぼり斉遊泳や、垂井曳山祭り、南宮大社の初詣など、垂井町の文化に直接触れ、地域の歴史や伝統について学ぶ機会を積極的に設けていっしやいます。
 - ・社会資源の有効活用▶タリイピアセンターや、ワイワイプラザ垂井、朝倉運動公園、エコドームなどの町内施設を見学したり、利用したりすることで、公共の場でのマナーやルールを学ぶ機会を作っていっしやいます。
- また、巡回バスの乗車や、飲食店への外出支援、近隣のスーパー等への買い物支援を通して、近い将来利用していく地域の「社会資源」を有効に活用できるよう、1つのイベントとして楽しみながら体験してもらっているそうです。

Instagram QRコード



▲キッズボンド垂井



▲キッズボンド地蔵

～インタビューを終えて～

お子様に常に寄り添い、小さなことでも何かできたら、職員全員で褒めて認めることを日頃から大切にしているというお話が印象的でした。

あたたかい雰囲気を感じられる施設で、職員さんも和やかで、とても素敵な空間でした。



令和7年7月1日

[5]第149号 社協だより

令和7年度福祉推進員研修会

令和7年4月14日から27日にかけて、町内各地区で福祉推進員研修会を開催いたしました。

社協からの「福祉推進員の役割と活動について」と題した説明の他に、福祉推進員の皆さんと各地区担当民生委員さんとの顔合わせや情報交換等を行う機会を持つことができました。お住まいの地区や自治会内で気になっていることや困りごと、地域課題と感ずること等を中心に、皆さん積極的に話をされ、情報共有されておりました。

ふだんのくらしをしあわせにする地域福祉が充実したまちづくりのために、今年度も、地域福祉推進活動にご協力よろしくお願いいたします。



デイサービスセンターお風呂の紹介

垂井町デイサービスセンターの自慢のお風呂を紹介します。
町内最大級の大きさを誇る一般浴槽。お庭の四季折々の花や木々を眺めながら入浴していただけます。

一般浴にはリフト浴も併設しており、大きな湯船に座ったまままで入浴していただけます。

車いす浴もあり、こちらも座った状態で入浴していただくことができます、安全に入浴いただけます。

また、近隣の通所施設ではめずらしいストレッチャー浴設備を設置しており、病気やケガなどで大好きだった入浴をあきらめることなく寝た状態のまま湯船につかっていたいただけます。利用者様の状態に合わせて一般浴、リフト浴、車いす浴、ストレッチャー浴を決めさせていただきます、安心で安全に入浴していただけます。



けやきの家新たな試み

eスポーツははじめました！

垂井町福祉事業所けやきの家では、5月17日(土)に余暇活動の一環としてeスポーツを行いました。

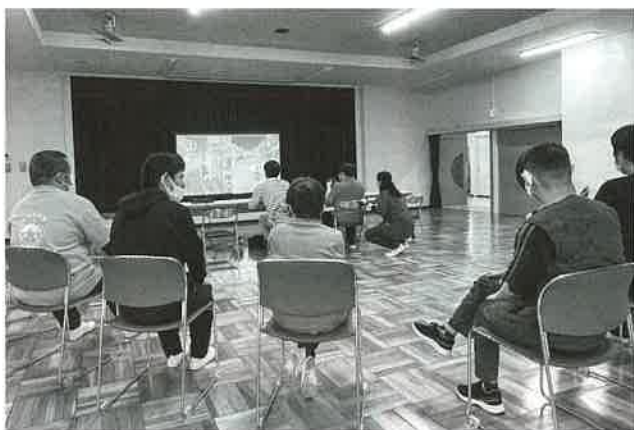
これまで、おやつづくり、ウォーキング、音楽鑑賞等の余暇活動を企画してきましたが、他にもみんなで楽しめるイベントはないかと模索し、昨今盛り上がりを見せているeスポーツをはじめすることにしました。

「やって楽しい」「観て楽しい」をコンセプトに、初回はニンテンドースイッチの「マリオカート」を行いました。

初めて体験される方が多いようでしたが、真剣にハンドルを操作し、ゴールされた後の笑顔は印象的でした。

勝ったり負けたりする中で、喜んだり、悔しがったりする姿や、自分の番ではないときに、拍手をして積極的に応援する姿がみられ、新たなコミュニケーションの場になっていました。

今後も日中活動と余暇活動を通じて、利用者さんの日々の豊かさに繋がるような、楽しい取り組みを行なっていききたいと思います。



勝ったり負けたりがあるのも良いよね♪



5月18日にシェアされた投稿
作成者: TARUO-OSUETO

「ぎふ子どもの学習支援・垂井教室」

垂井町社会福祉協議会では、子どもの学習支援や居場所づくりを進めるため、「ぎふ子どもの学習支援・垂井教室」を定期開催しています。

子どもと一緒に勉強したり、話し相手や遊び相手となるボランティア活動にぜひご協力ください。子どもと関わるのが好きという方や教員OBの方大歓迎です！

詳しくは、垂井町社会福祉協議会までお気軽にお問い合わせください。

開催日程▶(原則) 毎月第1・3水曜日 午後5時～午後7時

※参加者の募集は別途行っています。

☎(0584)23-3335



地域で安心して暮らせるようお手伝いします

日常生活自立支援事業のご案内

福祉サービスの利用手続きや日常的金銭管理に不安をかかえる方が安心して生活できるよう社会福祉協議会がお手伝いします。

サービス内容

- 福祉サービス利用援助
- 日常的金銭管理サービス
- 書類預かりサービス



詳しくは、垂井町社会福祉協議会までお問い合わせください。☎(0584)23-3335

垂井町社会福祉協議会

Instagram

やっています！



Follow me!



TARUICHOSHAKYO

垂井町社協



インスタグラム

- ★本会の活動
- ★地域福祉情報
- ★地域団体の活動や行事情報
- ★地域の話題、イベント情報
- ★共同募金運動情報
- ★災害ボランティア、義援金情報

さまざまな情報をお届けいたします

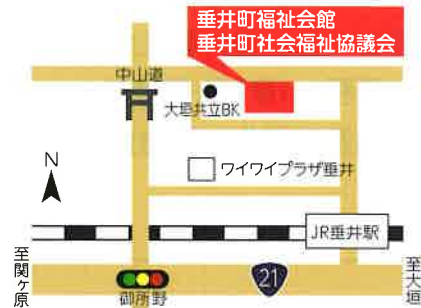
各事業は、感染症対策のため、中止となる場合があります。最新情報は、ホームページをご覧ください、お問い合わせください。

心配ごと相談日のご案内

場 所／垂井町福祉会館 2階相談室 (垂井町1305番地の2)
時 間／各回とも 13:00～16:00
その他／ご相談は無料です。
法律相談をご希望の場合は、必ずご予約ください。

	心配ごと相談		法律相談	結婚相談
7月	2日(水)	16日(水)	24日(木)	26日(土)
8月	6日(水)	20日(水)	28日(木)	23日(土)
9月	3日(水)	17日(水)	25日(木)	27日(土)

◆お問い合わせ・ご予約先
垂井町社会福祉協議会
☎(0584)23-3335



あたたかい善意のご寄付ありがとうございました <順不同>

- (株)やおせい燃料 様 25,000円
- 垂井町ボランティアグループつばき会 様 20,000円
- 渡邊 様 紙パンツ、尿取りパッド



おもちゃ病院たるい診療日

壊れたおもちゃをお持ちください。
おもちゃドクターが修理します。

※修理費は無料ですが、部品代など実費をいただく場合がございます。
※テレビゲーム機など承れないおもちゃもございますのでご了承ください。

診療日時／ 7月26日(土)
8月23日(土)
9月27日(土)

※各日とも、10:00～12:00

場 所／垂井町福祉会館 介護学習室
お問い合わせ先／垂井町社会福祉協議会
☎(0584) 23-3335



編集後記

今年度より広報委員会の所属になり、今号から社協だよりの編集に参加しています。

委員会活動自体初めての経験で、まだまだわからないことが多いのですが、周りの職員の協力を得ながら楽しく取り組むことができています。

町民の皆さまに『社協』をより身近に感じていただけるよう、親しみやすくあたたかい広報誌づくりに努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

今年も厳しい暑さになりそうですが、体調を崩されませんようご自愛ください。

(T.K)

